

町田市観光まちづくり

基本方針



町田市

目 次

1 町田市観光まちづくり基本方針策定の趣旨	1
2 「観光」を取り巻く現状と目指すべき方向性	2
3 「観光まちづくり」の将来像	3
4 将来像を実現するために	4
5 将来像の実現に向けた達成目標	5
6 「観光まちづくり」の推進にあたって	5

1 町田市観光まちづくり基本方針策定の趣旨

近年「観光」に対するニーズが多様化し、「名所や旧跡を巡る観光」に加え、「その地域ならではの体験や地域の人との交流を楽しむ観光」へと志向が広がってきています。

こうした流れを受け、2009年には町田市の観光振興の中心的な役割を担う組織として、町田市観光コンベンション協会を設立し、観光ホームページやマップ等での情報発信、観光案内所「町田ツーリストギャラリー」の開設、まちだ観光案内人の養成、ガイドウォークツアーや体験教室の実施など様々な取り組みを行ってきました。

また、町田さくらまつりや町田時代祭りをはじめとする観光イベントの開催、シティセールス活動、小野路宿里山交流館の整備などにも取り組んできました。

こうした中、町田市でも人口が減少する時代が目前に迫っており、経済も先細りになっていく恐れがあります。

そこで、「観光」を成長戦略の大きな柱として位置づけ、「観光」を切り口に**来訪者^{※1}**と**地域住民^{※2}**の交流を拡大し、さらに「観光」による消費拡大で経済活性化を図ることで、まちの活力の維持・向上を目指します。

そのためには、**市民^{※3}**と行政が協働で「観光振興」と「まちづくり」を一体的に進める「観光まちづくり」に取り組む必要があります。この道しるべとして、「町田市観光まちづくり基本方針」を策定するものです。

図 観光まちづくりの目的



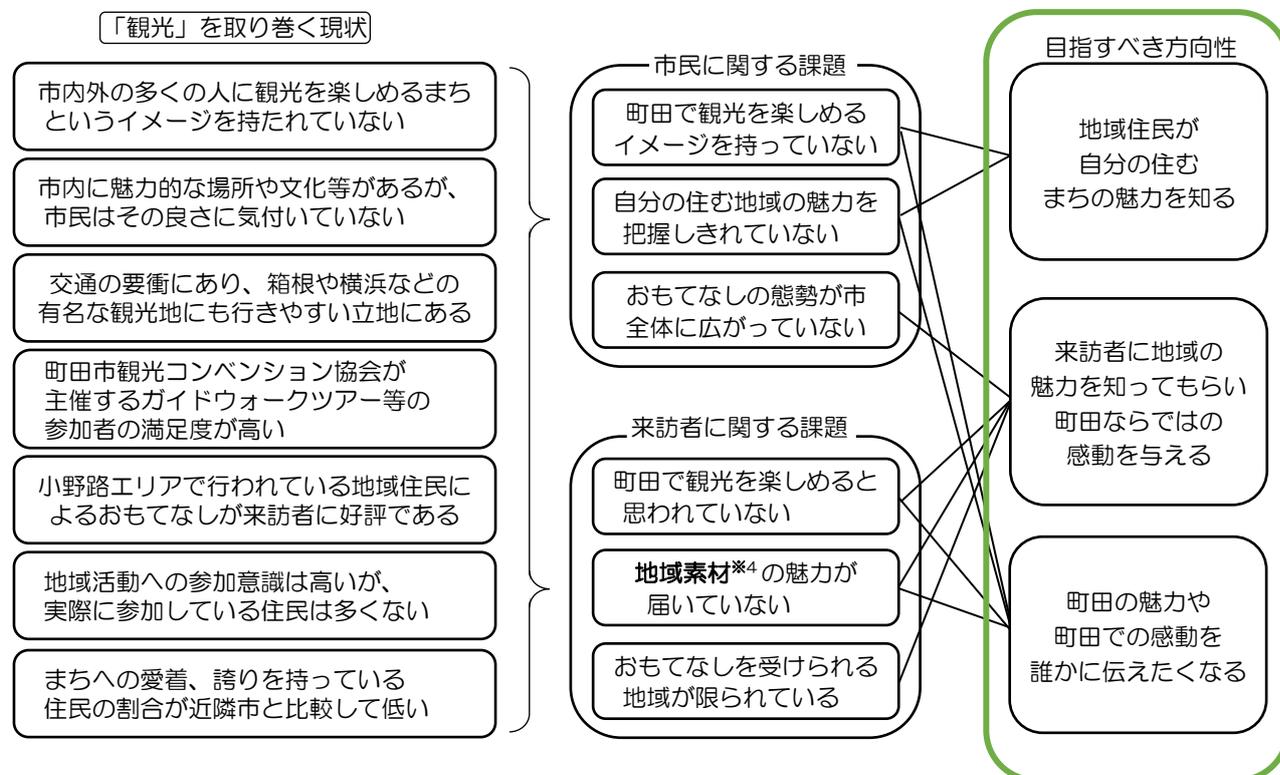
※1 来訪者 市内外から地域を訪れる地域住民以外の人

※2 地域住民 市内の特定地域（小学校区程度の地域）に住んでいる人

※3 市民 市内に住んでいる人（住民）と市内を拠点に活動する個人及び団体（事業者も含む）

2 「観光」を取り巻く現状と目指すべき方向性

市民や来訪者を対象に行った各種調査の結果を分析して、町田市の「観光」を取り巻く現状を抽出しました。その現状を市民に関する課題と来訪者に関する課題として整理し、その課題を解決するための目指すべき方向性を導いています。



【参考】町田の主な地域素材

自然・景観	町田薬師池公園四季彩の杜（薬師池、ぼたん園、ダリア園）、野津田公園、芹ヶ谷公園、尾根緑道、忠生公園、小山田緑地、大戸緑地、北部丘陵、鶴見川源流、境川源流
歴史・伝統	高ヶ坂石器時代遺跡、旧永井家住宅、絹の道、旧白洲邸武相荘、自由民権資料館、小島資料館
文化施設・観光施設	国際版画美術館、市民文学館ことばらんど、リス園、町田市フォトサロン、小野路宿里山交流館、あとりえ・う
街のにぎわい	町田シバヒロ、仲見世商店街、原町田七福神、駅前大型店舗
サブカルチャー	古着、アニメ、ラーメン、ご当地映画（まほろ駅前多田便利軒）
イベント	町田さくらまつり、フェスタまちだ、町田時代祭り、キラリ☆まちだ祭、大賀ハス観蓮会、菊花展、町田天満宮例大祭、まちだ全国バレエコンクール、全国町田ピアノコンクール
ホームタウンチーム	FC 町田ゼルビア、ASV ベスカドーラ町田、キャノンイーグルス
人物	八木重吉、遠藤周作、白洲次郎、白洲正子、田河水泡、睦地梅太郎、北村透谷、宮川哲夫、三浦しをん

※4 地域素材 多くの人に魅力が認識されていない、その地域ならではの素材

3 「観光まちづくり」の将来像

市民と行政が協働で「観光振興」と「まちづくり」の両面から自分の住む地域を見つめ直し、地域が持つ歴史、自然、文化などの地域素材の魅力に気づき、それを磨き、交流を通じて町田ならではの感動を与える「観光まちづくり」を進めます。

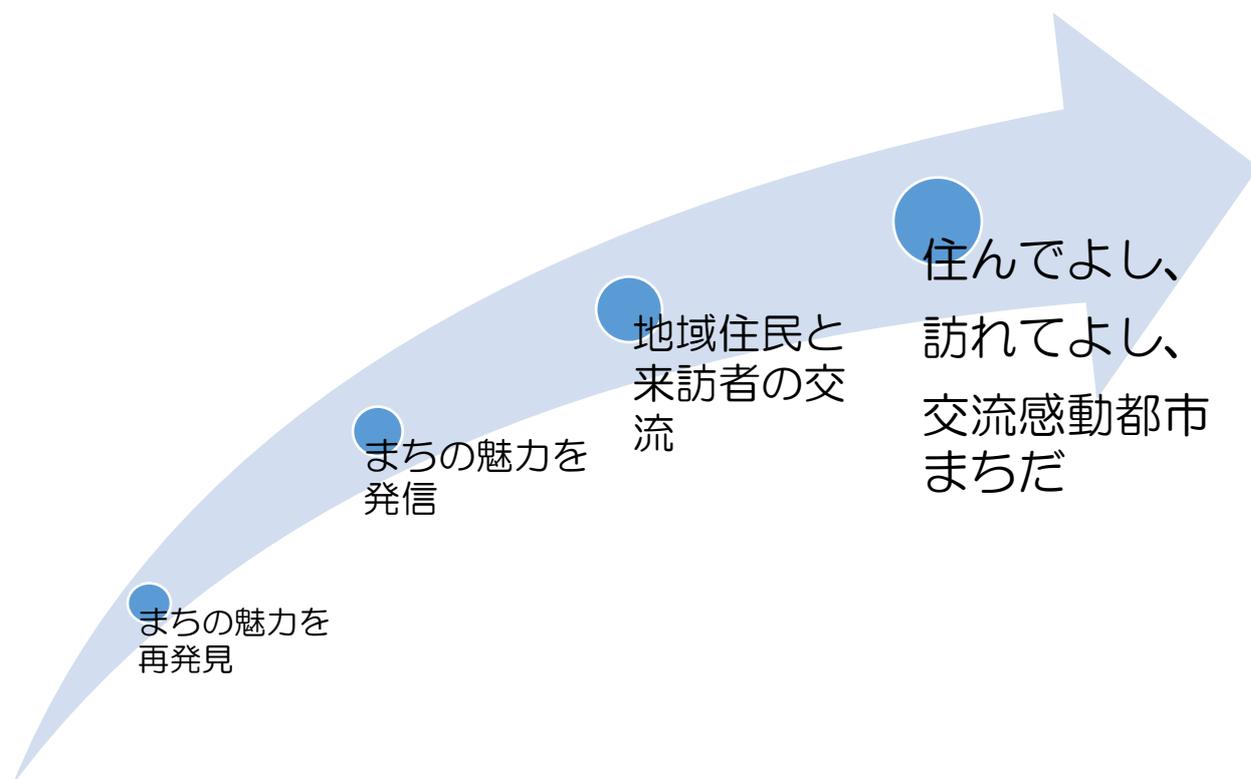
この「観光まちづくり」を進めることにより、市内で観光を楽しむ人を増やし、市民にとっては地域に愛着を感じ住み続けたいくなるような、来訪者にとっては何度も訪れたいくなるようなまちを実現します。

そこで、町田市の「観光まちづくり」の将来像を以下のとおりとします。

目指すべき将来像

～友を招き、歩きたいまち～

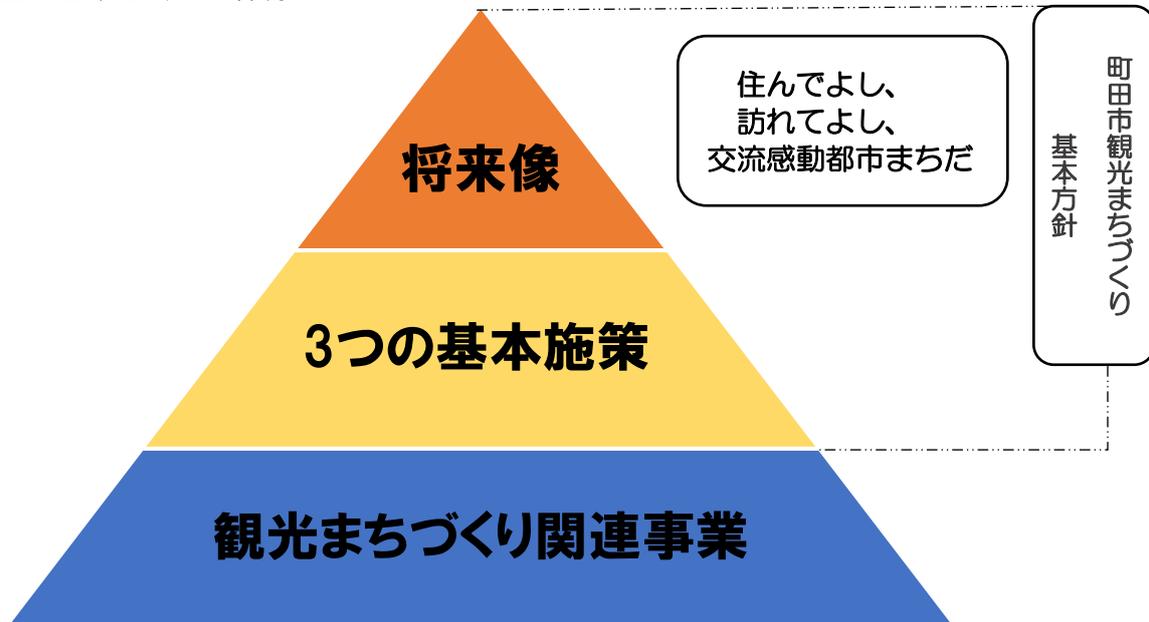
住んでよし、訪れてよし、交流感動都市まちだ



4 将来像を実現するために

目指すべき方向性を踏まえ、「観光まちづくり」の将来像を実現するため、以下の3つの基本施策に基づき、市民と行政が協働で様々な施策を展開します。

図 基本方針の全体像



基本施策1 町田ならではの地域素材の洗い出し・磨き上げ

来訪者へのヒアリング等による基礎データの収集を行うとともに、地域住民以外の力も借りて、今ある地域素材の洗い出しと磨き上げを行い、町田ならではの体験を提供し、何度も足を運びたいくなるような魅力ある**地域資源**^{※5}にします。

基本施策2 観光まちづくりの担い手と態勢づくり

地域でのおもてなし機運の醸成、体験プログラムやガイドウォークツアーの充実、観光案内人の担い手の拡充などを行い、市民全体で来訪者をおもてなしができるよう、観光まちづくりの担い手づくりと態勢づくりを行います。

基本施策3 地域素材が持つ魅力の伝達と交流の拡大

情報を伝達するターゲットを明確にするとともに、来訪者による情報発信を促進するための仕組みをつくりまします。これにより、来訪者と地域住民の交流を拡大します。

※5 地域資源 多くの人が魅力を認識し、来訪する目的となっている素材

5 将来像の実現に向けた達成目標

本方針の期間を2017年度から2030年度までの14カ年とし、「観光まちづくり」の将来像の実現に向けて、取り組みを段階的に進めていく上での道しるべとなる短期・中期・長期の達成目標を以下のとおりとします。

	短期達成目標 (目標年次：2021年度)	中期達成目標 (目標年次：2026年度)	長期達成目標 (目標年次：2030年度)
基本施策1 町田ならではの地域素材の洗い出し・磨き上げ	地域素材の洗い出し、掘り起しがなされた結果、地域資源となっている	来訪者の力を借りて地域資源がさらに磨き上げられている	地域住民にとって愛着や誇りの持てる地域資源となっている
基本施策2 観光まちづくりの担い手と態勢づくり	地域で来訪者をおもてなしする組織ができています	おもてなしをする組織の活動に各世代が参加している	市民全体で来訪者をおもてなしする態勢になっている
基本施策3 地域素材が持つ魅力の伝達と交流の拡大	地域住民が地域素材の魅力に気づき、自らその魅力を発信している	町田で観光を楽しんだ人自らが、地域資源の魅力を発信している	市内外の人に地域資源の魅力が伝わり、交流が拡大している

6 「観光まちづくり」の推進にあたって

本方針に基づき、「観光まちづくり」を着実に推進するため、以下の取り組みを行います。

1 観光まちづくり関連事業の取りまとめと推進

基本方針に基づく具体的な事業を観光まちづくり関連事業として取りまとめます。また、観光入込客数、旅行消費額などの数値化できるものを目標値として設定し、事業の進捗管理を行います。

2 町田市観光まちづくり推進委員会の設置

事業の実施状況を外部の視点で評価し、見直しの方策を提言していただくことを目的として、学識経験者や観光関連団体の代表者などで構成する「町田市観光まちづくり推進委員会」を設置します。

町田市

経済観光部産業観光課

町田市森野 2-2-22

042-722-3111 (代表)

2017年5月策定